

非認知能力を意識したPBLの流れ

右のステップに従って下の表を作成

ステップ1

年間指導計画において、生徒の感情の揺れ動きや非認知能力の育成を期待できそうな単元を選び、単元の目標や題材、評価方法などを設定する

ステップ2

学校教育目標やグラデュエーション・ポリシー(GP)に基づき、この単元で育てたい非認知能力を設定する

ステップ3

単元の学習を通じて、その非認知能力を身に付けた生徒の姿を思い描く

ステップ4

生徒が意識して、その非認知能力を身に付けることができるように、生徒の感情の揺れ動きを想定した仕掛けを設定する

単元目標：	学校や地域、社会における課題点について、客観的なデータの収集やインタビューを通じて得た情報を基に、考察し、自分の考えなどを理由とともに伝えることができる。
-------	---

プロセス		学習内容	非認知能力	期待できる生徒の姿	仕掛け①	仕掛け②
1 時間目	課題設定	自分の興味・関心に従い、最も課題意識のあるテーマを選ぶ	好奇心	社会の変化や課題に 気づき、自分の考えを 発信しようとする姿	社会の変化を知るデータの 提示	目的・場面・状況を意識さ せた課題の提示
		テーマを選んだ後、課題点を焦点化する				
	情報収集	アイデア出し（ブレインストーミング）をする				
		根拠となるデータを収集する				
2・3 時間目	整理・ 分析	集めた情報を整理・分析する	粘り強さ	他者を説得するために 奮闘する姿	ペアでの意見交換による考 えの深化	論点の整理
		課題に対する自分なりの解決策を提案する				
		自分の考えを他者へ伝えるために、スライドを作成する	他者・社会 との関わり	他者に伝わるように 工夫する姿	他者を意識した プレゼンテーション づくり	他者からの助言を聴く
		自分の考えを他者へ伝えるために、原稿を作成する				
4 時間目	まとめ・ 表現	自分の発表を他者に聞いてもらい、アドバイスをもらう		他者に自分の考えを 伝えようとする姿	他者を意識した 発表	－
5 時間目		自分の考えを他者へ伝える				
	自分の学習を振り返り、Google Formsに回答する（評価方法）					